

市が魅力を、価値を、エネルギーを「私に」伝える情報紙

# To Me

広報とめ  
トゥー・ミー

8

Aug 2024  
Vol.351



【今月の表紙】

## 市中学校総合体育大会

(関連記事 2 ~ 3 ページ)

【主な記事】

Go For Victory 勝利を目指して

【ときめき人】

中高生と大人の座談会 「LINK」







申請に必要な書類など	申請期限	助成金額	助成回数	対象内容	対象者	項目
①不妊検査費助成事業に係る受診等証明書②夫および妻の住民票の写し③事実婚関係に関する申立書(事実婚関係にある場合)	「検査終了日」または「検査開始日から1年を経過した日」までの末日(3月31日)まで	上限3万円	夫婦1組につき1回限り	①医師が必要と認める不妊検査 ※他の事業による助成を受けないこと ※過去に不妊検査費の助成を受けないこと	①有し、法律上の婚姻をしている夫婦または事実婚関係にある夫婦②検査開始日の妻の年齢が43歳未満③夫婦ともに検査を受けた	不妊検査
①不妊治療費助成事業に係る受診等証明書②夫および妻の住民票の写し③事実婚関係に関する申立書(事実婚関係にある場合)	1回の治療が終了した日の属する年度の末日(3月31日)まで	上限5万円	40歳以上43歳未満6回まで	①保険適用となる不妊治療と併せて実施された先進医療 ※他の事業による助成を受けないこと	①有し、法律上の婚姻をしている夫婦または事実婚関係にある夫婦②治療開始日の妻の年齢が43歳未満	不妊治療

市内各地区で取り組んでいる地域づくり活動を、シリーズで紹介します

## 地域の種まき隊 vol. 10

津山宝(だから)  
発掘・発信

津山公民館  
集落支援員  
佐々木 真一

自然豊かで、国道45号線からちょっと山間に入ると吸い込まれるように、どんどん奥に入つて行きたくなる魅力を持った津山地区。

住民が振り向き、気に留めてくれるような斬新な企画を計画し、毎月発行する「つやまだより」を通して広くアピールしています。アンケートで多くの高齢者の皆さんが出でます。スマートフォンやパソコンも何気なく使いこなせるような、みんなの地域になってほしいと思います。

## Information 06 不妊検査費・不妊治療費を助成します

本年度から、こどもを望む夫婦が早期に検査を受け、必要に応じて適切な治療を開始できるよう、「不妊検査」および「不妊治療のうち自己負担となりっている先進医療」を受けた

【不妊検査費・不妊治療費助成の要件など】

【申請日時】  
①申請日時点で市内に住所を有し、法律上の婚姻をしている夫婦または事実婚関係にある夫婦②検査開始日の妻の年齢が43歳未満③夫婦ともに検査を受けた

【登録方法】電話番号を送信してください。  
【登録】電子メールで、タイトルを「メンバー登録」として、①個人・事業者の別②氏名・事業所名および代表者名③メールアドレス④住所⑤電話番号を送信してください。

【応募資格】市内の学校に通う小中学生

【応募方法】在学する学校を通じて応募してください。

【表彰】優れた作品には、令和7年4月に予定している市制施行20周年記念式典で賞状と副賞を贈呈します。

【問い合わせ】まちづくり推進課(まちづくり推進係)

☎ 0220(22)2147

## Information 06 不妊検査費・不妊治療費を助成します

【活動内容】▼それぞれの家庭や事業所で、CO<sub>2</sub>家計簿による二酸化炭素排出量の見える化、省エネなどの削減行動、組みを実践したメンバーの中から抽選で記念品を贈呈する「脱炭素チャレンジ」を実施

【登録方法】電子メールで、タイトルを「メンバー登録」として、①個人・事業者の別②氏名・事業所名および代表者名③メールアドレス④住所⑤電話番号を送信してください。

【観覧申込方法】電話番号を送信してください。  
【登録】登録は随時受け付けます。

【観覧申込期間】7月22日(月)  
～8月7日(水)

【問い合わせ】福社事務所子育て支援課(母子保健係)  
☎ 0220(58)5557

【応募資格】市内の学校に通う小中学生

【応募方法】在学する学校を通じて応募してください。

【表彰】優れた作品には、令和7年4月に予定している市制施行20周年記念式典で賞状と副賞を贈呈します。

【問い合わせ】まちづくり推進課(まちづくり推進係)

☎ 0220(22)2147

## Information 07 絵画コンクールを実施

本市では現在、「第三次登米市総合計画」の策定に向けて取り組みを進めており、こどもたちが地域を愛する心を養い、まちづくりに対する市民参画の機運を高めるため、絵画コンクールを実施します。

【募集テーマ】10年後の登米市のまち

【応募資格】市内の学校に通う小中学生

【応募方法】在学する学校を通じて応募してください。

【表彰】優れた作品には、令和7年4月に予定している市制施行20周年記念式典で賞状と副賞を贈呈します。

【応募方法】入賞作品は、第三次登米市総合計画の冊子への掲載などを予定しています。

【問い合わせ】まちづくり推進課(まちづくり推進係)

☎ 0220(22)2147



平成26年度実施「10年後の登米市のまち」絵画コンクール 小学校高学年の部最優秀賞作品

## Information 06 不妊検査費・不妊治療費を助成します

【活動内容】▼それぞれの家庭や事業所で、CO<sub>2</sub>家計簿による二酸化炭素排出量の見える化、省エネなどの削減行動、組みを実践したメンバーの中から抽選で記念品を贈呈する「脱炭素チャレンジ」を実施

【登録方法】電子メールで、タイトルを「メンバー登録」として、①個人・事業者の別②氏名・事業所名および代表者名③メールアドレス④住所⑤電話番号を送信してください。

【観覧申込方法】電話番号を送信してください。  
【登録】登録は随時受け付けます。

【観覧申込期間】7月22日(月)  
～8月7日(水)

【問い合わせ】福社事務所子育て支援課(母子保健係)  
☎ 0220(58)5557

【応募資格】市内の学校に通う小中学生

【応募方法】在学する学校を通じて応募してください。

【表彰】優れた作品には、令和7年4月に予定している市制施行20周年記念式典で賞状と副賞を贈呈します。

【問い合わせ】まちづくり推進課(まちづくり推進係)

☎ 0220(22)2147

## Information 06 不妊検査費・不妊治療費を助成します

【活動内容】▼それぞれの家庭や事業所で、CO<sub>2</sub>家計簿による二酸化炭素排出量の見える化、省エネなどの削減行動、組みを実践したメンバーの中から抽選で記念品を贈呈する「脱炭素チャレンジ」を実施

【登録方法】電子メールで、タイトルを「メンバー登録」として、①個人・事業者の別②氏名・事業所名および代表者名③メールアドレス④住所⑤電話番号を送信してください。

【観覧申込方法】電話番号を送信してください。  
【登録】登録は随時受け付けます。

【観覧申込期間】7月22日(月)  
～8月7日(水)

【問い合わせ】福社事務所子育て支援課(母子保健係)  
☎ 0220(58)5557

【応募資格】市内の学校に通う小中学生

【応募方法】在学する学校を通じて応募してください。

【表彰】優れた作品には、令和7年4月に予定している市制施行20周年記念式典で賞状と副賞を贈呈します。

【問い合わせ】まちづくり推進課(まちづくり推進係)

☎ 0220(22)2147

## Information 06 不妊検査費・不妊治療費を助成します

【活動内容】▼それぞれの家庭や事業所で、CO<sub>2</sub>家計簿による二酸化炭素排出量の見える化、省エネなどの削減行動、組みを実践したメンバーの中から抽選で記念品を贈呈する「脱炭素チャレンジ」を実施

【登録方法】電子メールで、タイトルを「メンバー登録」として、①個人・事業者の別②氏名・事業所名および代表者名③メールアドレス④住所⑤電話番号を送信してください。

【観覧申込方法】電話番号を送信してください。  
【登録】登録は随時受け付けます。

【観覧申込期間】7月22日(月)  
～8月7日(水)

【問い合わせ】福社事務所子育て支援課(母子保健係)  
☎ 0220(58)5557

【応募資格】市内の学校に通う小中学生

【応募方法】在学する学校を通じて応募してください。

【表彰】優れた作品には、令和7年4月に予定している市制施行20周年記念式典で賞状と副賞を贈呈します。

【問い合わせ】まちづくり推進課(まちづくり推進係)

☎ 0220(22)2147

## Information 06 不妊検査費・不妊治療費を助成します

【活動内容】▼それぞれの家庭や事業所で、CO<sub>2</sub>家計簿による二酸化炭素排出量の見える化、省エネなどの削減行動、組みを実践したメンバーの中から抽選で記念品を贈呈する「脱炭素チャレンジ」を実施

【登録方法】電子メールで、タイトルを「メンバー登録」として、①個人・事業者の別②氏名・事業所名および代表者名③メールアドレス④住所⑤電話番号を送信してください。

【観覧申込方法】電話番号を送信してください。  
【登録】登録は随時受け付けます。

【観覧申込期間】7月22日(月)  
～8月7日(水)

【問い合わせ】福社事務所子育て支援課(母子保健係)  
☎ 0220(58)5557

【応募資格】市内の学校に通う小中学生

【応募方法】在学する学校を通じて応募してください。

【表彰】優れた作品には、令和7年4月に予定している市制施行20周年記念式典で賞状と副賞を贈呈します。

【問い合わせ】まちづくり推進課(まちづくり推進係)

☎ 0220(22)2147

## Information 06 不妊検査費・不妊治療費を助成します

【活動内容】▼それぞれの家庭や事業所で、CO<sub>2</sub>家計簿による二酸化炭素排出量の見える化、省エネなどの削減行動、組みを実践したメンバーの中から抽選で記念品を贈呈する「脱炭素チャレンジ」を実施

【登録方法】電子メールで、タイトルを「メンバー登録」として、①個人・事業者の別②氏名・事業所名および代表者名③メールアドレス④住所⑤電話番号を送信してください。

【観覧申込方法】電話番号を送信してください。  
【登録】登録は随時受け付けます。

【観覧申込期間】7月22日(月)  
～8月7日(水)

【問い合わせ】福社事務所子育て支援課(母子保健係)  
☎ 0220(58)5557

【応募資格】市内の学校に通う小中学生

【応募方法】在学する学校を通じて応募してください。

【表彰】優れた作品には、令和7年4月に予定している市制施行20周年記念式典で賞状と副賞を贈呈します。

【問い合わせ】まちづくり推進課(まちづくり推進係)

☎ 0220(22)2147

## Information 06 不妊検査費・不妊治療費を助成します

【活動内容】▼それぞれの家庭や事業所で、CO<sub>2</sub>家計簿による二酸化炭素排出量の見える化、省エネなどの削減行動、組みを実践したメンバーの中から抽選で記念品を贈呈する「脱炭素チャレンジ」を実施

【登録方法】電子メールで、タイトルを「メンバー登録」として、①個人・事業者の別②氏名・事業所名および代表者名③メールアドレス④住所⑤電話番号を送信してください。

【観覧申込方法】電話番号を送信してください。  
【登録】登録は随時受け付けます。

【観覧申込期間】7月22日(月)  
～8月7日(水)

【問い合わせ】福社事務所子育て支援課(母子保健係)  
☎ 0220(58)5557

【応募資格】市内の学校に通う小中学生

【応募方法】在学する学校を通じて応募してください。

【表彰】優れた作品には、令和7年4月に予定している市制施行20周年記念式典で賞状と副賞を贈呈します。

【問い合わせ】まちづくり推進課(まちづくり推進係)

☎ 0220(22)2147

## Information 06 不妊検査費・不妊治療費を助成します

【活動内容】▼それぞれの家庭や事業所で、CO<sub>2</sub>家計簿による二酸化炭素排出量の見える化、省エネなどの削減行動、組みを実践したメンバーの中から抽選で記念品を贈呈する「脱炭素チャレンジ」を実施

【登録方法】電子メールで、タイトルを「メンバー登録」として、①個人・事業者の別②氏名・事業所名および代表者名③メールアドレス④住所⑤電話番号を送信してください。

【観覧申込方法】電話番号を送信してください。  
【登録】登録は随時受け付けます。

【観覧申込期間】7月22日(月)  
～8月7日(水)

【問い合わせ】福社事務所子育て支援課(母子保健係)  
☎ 0220(58)5557

【応募資格】市内の学校に通う小中学生

【応募方法】在学する学校を通じて応募してください。

【表彰】優れた作品には、令和7年4月に予定している市制施行20周年記念式典で賞状と副賞を贈呈します。

【問い合わせ】まちづくり推進課(まちづくり推進係)

☎ 0220(22)2147

## Information 06 不妊検査費・不妊治療費を助成します

【活動内容】▼それぞれの家庭や事業所で、CO<sub>2</sub>家計簿による二酸化炭素排出量の見える化、省エネなどの削減行動、組みを実践したメンバーの中から抽選で記念品を贈呈する「脱炭素チャレンジ」を実施

【登録方法】電子メールで、タイトルを「メンバー登録」として、①個人・事業者の別②氏名・事業所名および代表者名③メールアドレス④住所⑤電話番号を送信してください。

【観覧申込方法】電話番号を送信してください。  
【登録】登録は随時受け付けます。

【観覧申込期間】7月22日(月)  
～8月7日(水)

【問い合わせ】福社事務所子育て支援課(母子保健係)  
☎ 0220(58)5557

【応募資格】市内の学校に通う小中学生

【応募方法】在学する学校を通じて応募してください。

【表彰】優れた作品には、令和7年4月に予定している市制施行20周年記念式典で賞状と副賞を贈呈します。

## 森の癒やし効果実感 新緑の森林セラピー体験

「新緑の森で『ととのう』森林セラピー」は6月9日、登米ふれあいの森で開催され、県内外から19人が参加しました。

道中では、森林インストラクターの酒井哲雄さんが森林セラピーの科学的な根拠や、この時期に見られる動植物などを解説。参加者は解説に耳を傾け、新緑輝くセラピーロードを歩きながら、森の癒やし効果を満喫しました。参加した和田秀明さん=福島県福島市=は「空気がきれいな自然の中を歩いて、とても癒やされました。違う季節にもぜひまた体験してみたいです」と話していました。



森林セラピーを2時間歩くとその癒やし効果が2週間続くといわれています。9月には秋の森を楽しむイベントを開催予定。

## 芭蕉の旅路を追体験 奥の細道芭蕉バスツアー

「奥の細道芭蕉バスツアー」は6月27日に開催され、県内外から18人が参加しました。

ツアーは、江戸から東北・北陸を巡った紀行文「おくのほそ道」の道中で、俳人の松尾芭蕉が登米市を歩いた日と同じ日に開催。参加者は、市内に残る芭蕉翁一宿之碑や上沼新田町の標柱など、実際に芭蕉が歩いた足跡をたどりながら、335年前の旅の風景に思いをはせました。参加した根本文子さん=神奈川県横浜市=は「故郷に存在した芭蕉の足跡を実際に追うことで、文献を読むだけでは知り得なかった、さまざまなことを学ぶことができました」と話していました。



松尾芭蕉は石巻市から岩手県平泉町に向かう道中で登米町に一泊。市内には、その足跡を記した碑や標柱が残っています。

## 神々の舞観客を魅了 伝承芸能まつりを初開催

「第1回とめ伝承芸能まつり」(市地域伝承文化保存支援推進会議主催)は6月30日、伝統芸能伝承館森舞台で開催され、市内外から約350人が観覧に訪れました。

まつりは、地域の伝承文化を継承する団体やこどもたちの発表の場を設け、広く地域文化の魅力を伝えることを目的に初開催。豊里町の上町法印神楽をはじめ市内の神楽保存団体による公演のほか、ゲストとして国指定重要無形民俗文化財の雄勝法印神楽が演舞を披露しました。佐々木美夫さん=仙台市=は「登米出身ですが、こども神楽は初めて見て感動しました。素晴らしい地域文化を引き継いでいってほしい」と話しました。



加茂流館神楽と嵯峨立神楽は、市内小中学生が演じ、児童生徒の堂々とした舞いに客席から大きな歓声と拍手が送られました。

## 感性豊かな作品並ぶ 高校生絵画展IN登米市

「高校生絵画展IN登米市2024」が5月30日から6月2日まで、水の里ホール・Abebisou(登米祝祭劇場)で開催されました。

絵画展は今回で26回目の開催。これまでの出品総数は2,254点に上り、高校生の日頃の活動の成果を広く発表する場となっています。今回は、県内および一関市内の高校14校から応募のあった104点の作品を展示。来場者は、アクリル画や水彩画、油絵などで描かれた、個性豊かでエネルギーあふれる絵画の数々を鑑賞していました。最終日には、入賞作品の表彰式が行われ、受賞者へ賞状が手渡されました。



「登米大賞」を受賞した菅原葵さん=多賀城高2年=。「今回の経験を、これからの活動に生かしていきたい」と話していました。

## 市の歴史と文化学ぶ サウスレイク訪問団来市

本市の姉妹都市である、米国テキサス州サウスレイク市青少年訪問団8人が6月1日から7日までの7日間、登米市を訪れて市民との交流を深めました。

訪問団は、登米町の明治村の見学や南方町の興福寺で書道体験などをしたほか、登米総合産業高校では授業に参加して生徒と交流し、本市の歴史や文化を学びました。プレストン・イノウエさんは「登米市は景色が美しくて、フレンドリーに接してもらえたのでうれしかった。食事や書道などを通して、日本の文化や歴史を知ることができて貴重な体験をすることができました」と話していました。



市消防防災センターの見学では、震度7の地震を体験したほか、消防士の装備を実際に身に着けていました。

## 交流生む拠点目指し 交流をテーマに意見交換

「登米市(仮称)地域交流センター整備市民ワークショップ」が6月1日、迫公民館で開かれました。

ワークショップは、(仮称)地域交流センターの整備に向けた基本構想と基本計画の策定にあたり、市民の意見を反映させることを目的に開催。1回目となる今回は、各世代の市民19人が参加し、交流をテーマに意見交換しました。佐藤和裕さん=東和町米川3区=は「自分とは違う視点での考えがあって参考になりました。若い世代の人の意見をもっと聞いてみたいですね」と話していました。ワークショップは全3回の予定で、そのほかにも学生向けの開催を予定しています。



交流を生み出すための機能や人が集まるために必要なことなどについて、自由な発想でアイデアを出し合っていました。



## わたしが描く夢

春日 美喜子 さん

宝江小5年／中田町・蓬原

### 本の魅力を多くの人にへ

私の将来の夢は、本の編集者になることです。私は本を読むのが大好きです。本にはさまざまなジャンルがあり、それぞれに違った魅力があります。それらの話を読みながら登場人物の気持ちを想像すると、自分が実際に体験しているような気がして、その感覚がとても心地よいです。

私が好きな本の中に、連載を立ち上げた時のエピソードが載っていて、この本の大ヒットの裏には、担当の編集者の力があったことが書かれていました。そのことを知った時に、私自身が作家となって多くの人に感動を与えることは難しくても、本を作ることに関わる仕事ならできるかもしれませんと思いました。

私は、読む人が元気になったり、苦しいことを乗り越えるヒントを与えたりすることができるような本を作る編集者になりたいです。この夢をかなえるために、いろいろなことに興味を持ち、たくさんの本を読んでいこうと思います。

## わが家のアイドル



鈴木 美麗愛 ちゃん(8ヶ月)

2023年10月19日生まれ  
迫町・江合  
優斗さんの長女

元気いっぱいで家族みんなを癒やしてくれています。これからも元気いっぱい大きくなつてね。



高橋 羽空 ちゃん(3歳)

2021年3月22日生まれ  
米山町・中坪  
憲一さんの長女

3歳おめでとう。  
成長が楽しみです。お兄ちゃんたちと仲良く遊んでね。



菅原 一華 ちゃん(7ヶ月)

2023年12月5日生まれ  
中田町・並柳  
宏さんの長女

待望の第二子、わが家のアイドルです。笑顔がとってもかわいいね。これからもすくすく大きくなつてね。



千葉 茉依 ちゃん(1歳)

2023年5月31日生まれ  
南方町・沢田  
翔平さんの長女

たくさん歩いて笑って元気いっぱいな茉依ちゃん。これからもすくすく成長してね。

## よりそい半世紀

### 低反発が円満のコツ

#### ★出会ったきっかけは

【美枝子】おばさんの紹介で、お見合い結婚だよ。

#### ★お互いの性格、夫婦円満のコツは

【榮】二人とも、言いたいことは言うけど、大きな波立てないように気を遣うことができる、低反発な性格だね。

【美枝子】言わなきゃならないことがあれば口げんかもするけど、これからも二人で生活していくから、いがみ合っても仕方ないでしょ。

#### ★現在の楽しみは

【榮】孫に使い方を教えてもらって、LINEで連絡ができるようになったんだ。

【美枝子】孫から電話が来ると、家族みんなで30分も40分も話しちゃうの。

#### ★これからしたいこと

【榮】電気工事の仕事を続けていきたいね。お客様にも辞めないでって言われているから。

【美枝子】きょうだいとの旅行や趣味の手芸を続けたいね。孫たちの帰省も楽しみだよ。



岩渕 榮 さん(80)

みえこ  
美枝子 さん(77)

中田町・金谷／1967(昭和42)年12月入籍

## 市民リレーエッセイ

こんにちは！アトリエ「み」さんからバトンを受け取りました迫町新田の三塚香子です。

横浜市出身、洗足学園大学附属高校卒業、日本工学院専門学校コンサートイベント制作部を経て、18歳で憧れのライブハウス店員になり、20代は音楽好きが集まる都内のカフェでたくさんアルバイトをしてきました。そんな中、東京でバンドマンをしていた新田出身の夫と音楽仲間を通じて出会い、2016年に結婚。29歳から介護職に就き、30代になってから「食」の大切さを感じるようになった私にとって、牛肉だけでなく野菜もお米も作ることができる夫の実家を訪れたとき、それはそれは「豊かなところ」に感じました。あれからもうすぐ7年。今は「食、農、人、文化をつなぐ」ことをテーマにした三塚牧場直営のカフェを営んでいます。

豊富な土、水、森林があることの大切さを伝えたり、農家さんを応援したり、楽しいこととコラボしながら登米市を盛り上げていきたいです。

### 三塚 香子 さん

迫町・小友



次号は、及川咲嬉さん=豊里町加々巻=ヘバトンをつなぎます









# ときめき人

Tokimeki bito

## 思いは連鎖し、未来につながる



### 中高生と大人の座談会「LINK」

©Go Nagai / Dynamic Planning

市内の中高生が集う座談会「LINK」は、「大人もこどもも、一つのテーマで価値観を共有し、生きるための力を身に付ける」をコンセプトに2019年から活動を開始。毎月1回、市民活動を展開する大人たちを交えて、さまざまなテーマで意見交換をしている。参加者たちは「同じ学校以外の同世代が交流できる場所や、家族以外の大人と話す機会って少ないとと思う。ここでは、そんな貴重な体験ができるんです」と話す。

メンバーは、話し合いの中で生まれた思いやアイデアをマルシェイベント「とめまる」で実現することに。昨年は参加者と作る100色アート、2年目の今年は「こどもたちにかっこいい背中を見せる」という目標を立てて、Tシャツペイントやキッ

チンカーのPOP製作、エコアートに挑戦。限られた時間の中、企画や運営に奔走した。イベント後、「こどもたちの楽しそうな様子や、皆さんからの応援や感謝の言葉に、やってよかったと実感した」「活動を通して、人間性、協調性、発言力など多くのことを学び、成長できた」と声をそろえた。

「高校卒業後は進学で地元を離れる予定ですが、学んだことを糧に、これからも登米市のためにできることを考えていきたい」と語った千葉遥奈さん。リーダー役の高橋尊さんは「みんな性格がバラバラ。だから、面白い。いろんな考え方や意見を重ねて一つのことをやり遂げる楽しさを体験してほしい」と参加を呼びかける。若者たちの輝きは地域の未来を明るく照らす。

▼暑さと日焼けが嫌すぎて、外での取材を二人に押しつけて事務室に引きこもっている今日この頃。いつもありがとうございます。涼しくなつたら頑張りますので…。(渡邊)

▼強い日差しの中、日焼けしながら昨年に続いて中総体を取材。昨年見たときは、どこか先輩たちの陰に隠れてプレーしていた2年生の選手たちが、たくましく成長している姿にうれしくなりました。年齢を重ねるにつれ、1年経過するのがどんどん早く感じる今日この頃。原稿を書くスピードも早くなればいいのに。(高橋)

▼先日新婚旅行で北海道に行き、妻の両親が昔旅行したという場所をいくつか訪れました。私たちの土産話に、昔はこうだったよと思い出を語り目を細める義両親の姿に、旅の思い出を追体験し共有することの素晴らしさを感じました。おのほそ道の旅路に思いをはせる現代の私たちに、芭蕉も同じ気持ちを抱いているのでしょうか。(添田)

## 編集後記



登米市公式ホームページ

<https://www.city.tome.miagi.jp/>



登米市メール配信サービス

(防犯や防災、市政に関する情報を配信)  
<https://plus.sugumail.com/usr/tome/home>



登米市公式LINE

(市政、イベント情報などを配信)  
<https://line.me/R/ti/p/%40972tqqam>